

くらぼよ

くらぼよとは
Collaboration
コラボレーション
(共同、協働)と

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第28号 2014・春



《内容》

☆初代三木市女性センター所長 戸田さんにお話をお聞きしました

☆セミナー報告

・女性起業家育成塾 ・しなやかに生きる～孤立しない介護

☆MEN'S絵本プロジェクトいぶし銀

楽しく学んでいただけます

男女共同参画週間記念事業開催

落語家の講演ですので笑ってもらえる事が不可欠。帰り道、人がよりいとおしく、草花がより愛らしく見える……。そんなお話が出来たらいつも考えております。
(松枝さん談)

2014年6月28日(土) 13:30~15:30

場所：三木市立教育センター

落語家 笑福亭 松枝さん来たる！！

初代三木市女性センター所長 戸田いく代さんにお話を伺いました

三木市男女共同参画センターの10年を振り返り、いま思うこと

平成11年に「男女共同参画社会基本法」が施行され、私が女性施策担当という三木市では初めての部署に配属されたのは平成13年4月のことでした。それまでは図書館に勤務していました。前任者もなくどんな仕事をするのか全く分からないという状態でしたから、県内外の女性関連施設等で開催される講座や研修会の情報を集めて、土日問わず参加し、まず学ぶことから始めました。遠い開催地などで出張費が出ないものは自費で参加し、知識をつけるのに必死でした。そして、いろいろな講演や講座での体験を重ねていくうちに、私達女性が「女はこうあるべき」といった小さい頃から身についた固定観念に縛られ生きていることに気づかされました。同時に、女性施策担当がどんな仕事をすればいいのかという疑問が少しずつ解消されていきました。



やがて三木市では、女性達にもっと自分らしく生きていいんだと気づく力をつけてほしいと、「女性センター」が誕生し、現在は「男女共同参画センター」となっています。今は若い男性は、料理をしたり、育児をしたり確実に変わってきています。昔は、手伝いたくても手伝えない立場、抵抗感があったようですが、今の若い人達には無いようです。

女性の管理職への登用率、審議会等女性委員の登用率などの目標を掲げて、女性を積極的に登用しようとしていますが、数の問題ではなく、中身の問題だと思うのです。女性の登用率を上げたといっても、会議で何も発言することが出来ないとか、せっかく発言しても取り上げてもらえないとかではいけないと思います。数字だけが独り歩きして、進んでいると勘違いしないように。「女性がいろいろな立場で積極的に発言できる力をつける」ことが大事で、そのためには男女共同参画センターの役割も重要だと思います。



参画センターの担当者の方たちは、知識を十分持ち合わせておられますし、対応もとても丁寧です。しかし近年、取り扱う事業等が増えてきているので、設備や職員の充実が望まれます。又、運営委員やセンターに係わる人たちの力を十分に活用することも大切だと思います。

現在、私はこのセンターで経験してきたことを少しでも多くの方のお役にたてたいという思いから、女性問題にかかわるNPOでお手伝いさせていただきます。

最後に、一人でも多くの皆さんが男女共同参画センターへ足を運んでいただけることを願っています。

男女共同参画週間 6月23日～6月29日

内閣府男女共同参画局では、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である、平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日からの1週間を「男女共同参画週間」として様々な取り組みを通じ、男女共同参画基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

三木市男女共同参画センターセミナー報告

女性起業家育成塾～あなたの夢（起業）を現実のものにしてみませんか～

3月7日から始まった連続5回のセミナーには、毎回10名前後の方が参加しました。起業とは何ぞや？と興味を持って参加された方、近い将来に自分のお店を持ちたいがまず何をすればよいのかわからないという方々。年齢層も広く女性の勢いを感じさせられました。

このセミナーでは、起業するための最低限必要な知識や自分の事業プランニング作成のトレーニングを、講師の川邊久美子さん（ポリーライフケアサービス㈱）と岩本徹さん（㈱RingUp）のご指導のもとに学びました。女性起業家の体験談や私たちを取り巻く社会環境、企業の事例研究を聞いて自分の夢をシュミレーションしました。思っていることを詳しく書く、話すことで夢に近づくそうです。趣味の延長で仕事につながれば儲けなんかなくてもいいと考える女性が多いそうですが、それはNGで、事業とは儲けなければ続かないとのことでした。ピンチはチャンス！講師は何度も言っておられました。最終回にはビジネスプランを一人ずつ発表しました。5分と決められた発表時間の中で、事業の必要性や売上金額、最終的に目指すところを語るというもの。参加者の皆さんが目を輝かせて一生懸命に発表されている姿に本気を感じました。

参加者から「いろんな業種を目指す方々と知り合うことができ、アドバイスやヒントがもらえた」「ビジネスとして客観的にみる事ができた」などの感想がありました。

頑張り！女性起業家！これからますます元気な女性が増え、セミナー受講者の中から一日も早く事業を始められる方が誕生されることを願っています。



男女共同参画センター登録グループ「みず.(どっと)みきず」企画講座 しなやかに生きる～孤立しない介護～

急激な高齢化の時代を迎えて、介護に必要な高齢者を周囲がどんなふうに支えていけばいいか、またどのように「老い」と向き合っていくかを考えるために、3月29日セミナーが開催されました。参加者は約40名で、その半数が男性でした。介護は男女を問わない問題であることが改めて浮き彫りになりました。

講師は若年性認知症のパートナーの介護を約20年続けるかたわら、NPO法人ぴかぴかクラブの理事長を務めておられる見口敏郎さん。見口さんは、「長年の介護でつらいこともあったが、根底には妻への感謝や愛情があったので、落ち込むよりも、とりあえず実践することでやってきた。しかし、自分で出来ることには限界もあった。そんな時には専門家のアドバイスを取り入れたり、周りの人たちに随分助けられたりして、乗り越えることができた。ふり返ると、



柳のようにしなやかにやってきたことがよかったと思う」と話されました。

さらに「現在は健康な人も特別養護老人ホームなどの施設を是非見学してほしい。そうすると健康の大切さも分かるし、介護現場の様々な問題が見えてくる。足りないことで他人を責めるよりも、自分達ができることを考え行動に移していこう」とのことでした。

続いて参加者は6人ほどのグループになり、親やパートナーを介護している方、介護の勉強会を開いている方、地域の高齢者サロンの世話をしている方などひとりひとりが体験を話しました。性別や年齢、立場の違いがある人達がお互いの考え方を知る良い機会になりました。「介護にはこれだと言う正解はないけれど、困っている時に声を出して助けを求めることが第一歩だと思います」との意見に皆さんうなずいておられました。



男性だって読み聞かせたい！

MEN'S 絵本プロジェクト 「いぶし銀」

絵本は子どもが見るもの、読み聞かせは文章が理解しにくい子どもの為と思われがちですが、実はその内容は幅広く、赤ちゃんから高齢者まで楽しめます。今まで読み手は女性が主流でしたが、男性だって読み聞かせたいと昨年5月に発足したのが「MEN'S 絵本プロジェクト “いぶし銀”」です。



発起人でリーダーの河田明彦さんは、「パパに限らず、おじいちゃんも近所のおっちゃんも、絵本を楽しんだり絵本について考える中で人間関係を広げたい。男性社会にありがちな上下関係がなく、みんなが対等に好きな絵本で自主的につながっているところが魅力」と話します。メンバーは40代から60代の男性5人と、「男性だけでは視点が偏ってしまうので、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザー、時には手遊びなど、まだ足りないノウハウを分けてくれる」3人の女性です。その一人、茂木(もてぎ)美知子さんは「皆さん意欲的です。本選びも真剣で又違った本が楽しめます。カフェでお茶を飲みながら企画会議をしたり、フェイスブックで連絡をするので話が早い」と、その魅力を語ります。



「女性ばかりだと入りづらく、こんなグループを待っていた」「読んでる姿がかっこよかった」とメンバーが増えました。「自分の子に読み聞かせをする延長でよその子にも読んでいます。選ぶ本も自分が好きな本、読みたい本」と、自然体で活動をされている皆さんからは、「子育てに慣れていないお父さんも、子どもと関わるツールとして絵本を活用して欲しい」というメッセージも頂きました。

ムジカドルチェさんの生演奏に合わせての読み聞かせや、加東市の男女共同参画セミナーでの読み聞かせは、大人たちにも好評でした。歌って踊ってみんなの手拍子に合わせて読んだり、昔懐かしい紙芝居をすることもあり、個性豊かに絵本の魅力を伝えているようです。読み聞かせは、読み手の人間性がお話の世界を広げ、聞き手の世界も豊かにしてくれるものだけに、味わい深い「いぶし銀」の輝きに期待できそうです。

「4月から、毎月第3土曜日の11時から三木市立図書館で読み聞かせを始めます。興味のある方はお試してみたい、のぞいてみてください」とのこと。読み手の個性が光るお話の世界を体験してみませんか？



一人で悩まずご相談ください。相談料は無料で秘密は守られます。

女性のための弁護士相談（面接）

相談内容：配偶者や恋人からの暴力によるトラブルやストーカー被害等

日時 毎月第4水曜日 午後1時30分～4時30分

要予約 ☎89-2331（事前の面談があります）

会場 男女共同参画センター（教育センター3階）

女性のための相談室

火・木 午前10時～午後4時

電話相談・面接相談（予約制）

女性問題相談員が女性の立場に立ち、問題解決に向かえるようサポートします。まずはお電話ください。

三木市男女共同参画センター

（愛称こらぼーよ）

三木市福井 1933-12

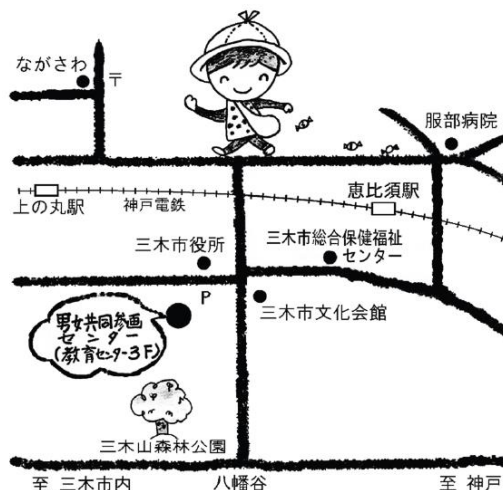
三木市立教育センター3F

〔 神鉄恵比寿駅から徒歩10分
市役所前バス停からすぐ 〕

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00～17:00

休館日 日曜・祝日・年末年始



編集後記

新たなスタートにぴったりの春です。夢と希望の種を撒き、小さくても素敵な花を咲かせる様、心豊かに暮らしたいです。笑って、笑って… maaco



企画編集：

情報誌こらぼーよ編集グループ

発行：

三木市男女共同参画センター